

「いたばし子ども未来応援宣言 2025」等の実績報告について

1 計画概要・趣旨

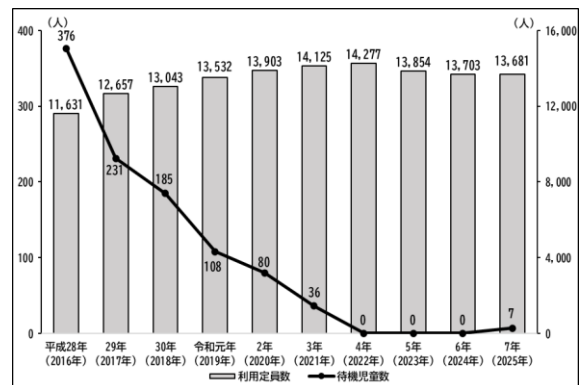
- 平成 28（2016）年度から令和 7（2025）年度までを計画期間とする「いたばし子ども未来応援宣言 2025」（以下、応援宣言）は、板橋区基本構想（以下、基本構想）・基本計画 2025 の子育て分野における個別計画に位置づけられていました。また、令和 7（2025）年度から 11（2029）年度までを計画期間とする「いたばし子育て支援・社会的養育推進プラン 2029」（以下、子社プラン）及び令和 8（2026）年度から令和 12（2030）年度までを計画期間とする「いたばし子ども・若者・子育て応援プラン 2030」（以下、子若子育てプラン）は、基本構想・基本計画 2035 の子ども・若者分野における個別計画に位置づけられています。
- 今般、応援宣言とその短期的なアクションプログラムである、令和 4（2022）年度から令和 7（2025）年度までを計画期間とする「実施計画 2025」（以下、実施計画）の総括や令和 7（2025）年度の実績とともに、子社プランの令和 7（2025）年度の実績について報告します。

2 応援宣言の総括

（1）主要成果

① 待機児童のいない環境づくり

応援宣言を策定した平成 27（2015）年 度当時は、保育園や学童クラブの待機児童が多く、社会問題となっていました。板橋区では、全区立小学校に「あいキッズ」を導入し、学童待機児童ゼロを早期に実現したほか、保育園においても、令和 4（2022）年度に待機児童ゼロを達成しました。保育園では、令和 7（2025）年度に再び待機児童が発生しましたが、欠員も多く発生するなど、新たな課題が生じています。



待機児童数及び保育施設の利用定員の推移

② 児童相談所設置市への移行の実現

旧板橋第三小学校跡地の一部を活用し、令和 4（2022）年 4 月に、子ども家庭総合支援センターを開設、同年 7 月には児童相談所設置市として指定されました。支援が必要な子どもと家庭の早期発見と児童虐待等の予防から、一時保護・措置・援助まで一貫して対応できる総合拠点として機能しています。地域全体で子どもと家庭を支えるため、関係機関と連携を図り、子どもや保護者に対する支援を実施しています。



子ども家庭総合支援センター

③ 切れ目のない子育て・経済的支援の充実

妊娠時・出産後に面接や訪問を実施し、必要な支援につなげるほか、産後ケア、産前産後支援事業、育児支援ヘルパー事業、ベビーシッター利用支援事業などの充実を図りました。経済的支援では、出産応援ギフト、子育て応援ギフト、パースデーサポート事業を開始したほか、児童手当・子ども医療費助成の拡大、保育料・学校給食費の無償化などを実現しました。



子育て支援一覧（事業の一例）

④ 配慮が必要な子どもへの支援の充実

児童発達支援センターを新たに2か所開設したほか、医療的ケア児を受け入れる区立保育園を5か所へ拡大しました。加えて、子ども食堂の事業運営や設備の整備費等を支援しました。また、街かどフードパントリーを設置したほか、まなびのひろば「けやきば」、ヤングケアラーやケアリーバー支援への取組を開始しました。さらには、区内で2か所目の街かどフードパントリーの開設に向けて検討・調整を図りました。



街かどフードパントリー（食品・相談支援事業）
赤塚パントリー（令和8年6月26日開設）

⑤ 創造都市（クリエイティブシティ）の実現に向けて

児童館を乳幼児親子に特化したCAP'Sへ再編したほか、板橋こども動物園を再整備、緑に囲まれた平和公園内に中央図書館を移転し、いたばしボローニャ絵本館を併設、中高生・若者の居場所としてi-youthを開設するなど、絵本のまちとして、未来を担う子どもに魅力的で、誰もが親しみやすい環境や創造都市（クリエイティブシティ）の実現に向けて取り組んでいます。



中央図書館 児童コーナー

（2）計画指標の達成状況（参考：資料2-2）

「達成」及び「概ね達成」の割合が全体で約71.4%（集計中の事業を除いた割合は約78.9%）となりました。（アンケートによる指標については、資料2-2参照）

基本目標	指標数 達成率	主な指標	策定時（平成 26(2014)年度）	目標（令和7 (2025)年度）	実績（令和7 (2025)年度）
I 安心して妊娠・出産、子育てできるまち	4 50.0%	児童館1館当たりの子育て相談の件数	86件	1,400件	1,842件
II 子どもの健康と安全が守られるまち	4 100%	乳幼児健康診査受診率	91.30%	100%	92.90%
III すべての子どもが健やかに育つまち	4 75.0%	里親事業での養育家庭登録数	22件	44件	35件
IV 豊かな人間性と生きる力を育成するまち	5 60.0%	スクールソーシャルワーカーの訪問延回数	1,213回	1,600回	7,622回
V 子育てでみんなが協力するまち	4 75.0%	i-youthの利用者数	14,346人	40,000人	30,822人

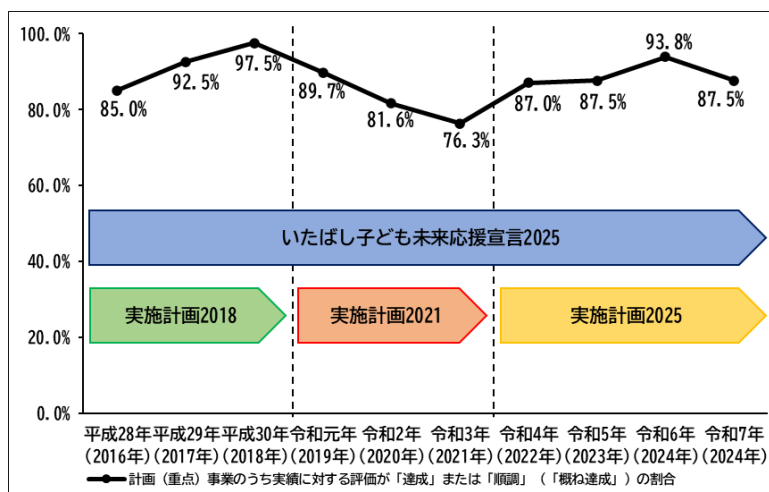
※策定時のうち基本目標Ⅲ～Ⅴは、実施計画2025からの新規指標のため、令和2（2020）年度の実績値

※達成率：達成状況が「達成」、「概ね達成」の割合（下記は評価評語の定義）

達成	令和7（2025）年度末までの目標事業量を計画どおり（概ね9割以上）達成したもの。
概ね達成	令和7（2025）年度末までの目標事業量を概ね7～9割達成したもの。
未達成	令和7（2025）年度末までの目標事業量の達成率が概ね7割未満の実績であったもの。
変更	新型コロナウイルス感染症対策など、社会情勢等により計画を変更したもの。

（3）応援宣言の評価

計画（重点）事業のうち実績に対する評価が「達成」または「順調」（「概ね達成」）の割合は、コロナ禍の影響を強く受けた令和2（2020）～令和3（2021）年度に80%前後に下がったものの、10年間の平均は約87.8%であり、3年に1度、計画を見直ししながら、目標達成に向け、着実に推進することができました。



いたばし子ども未来応援宣言 2025 の計画期間及び評価

3 令和7（2025）年度の主な成果

実施計画では、5つの基本目標を施策体系の柱としつつ、「3つの重点宣言」を掲げ、子ども・若者政策を推進しました。以下、「3つの重点宣言」の趣旨に沿って、主な成果を報告します。

（1）重点宣言Ⅰ「切れ目なく子育て家庭を支え、その暮らしを豊かにします」

○産後ケア事業では、訪問型・宿泊型の利用人数が大幅に増加し、令和6年度に導入した通所型についても、前年度から2倍以上となる694人の利用がありました。

○多様化する区民ニーズに対応するため、家事・育児支援事業利用料の一部無償化・減免や複数のコースを設けたウェルカムベビー講座を開始したほか、令和7年度を「父親支援元年」として父親支援にいち早く取り組みました。

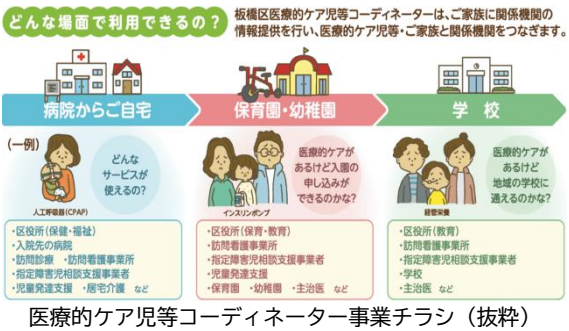
		対象			内容				
		妊婦	夫・パートナー	祖父母	助産師等諸番	沐浴等実習	妊婦健診体験	サービス紹介	
基本コース	対面ベアコース	○	○	○	○	○	○	○	
	対面ママコース	○	—	—	○	○	—	○	
	オンラインコース（ライブ配信）	○	○	○	○	○	—	○	
オプションコース	録画配信コース	○	○	○	○	○	—	○	
	プレバベセミナー	—	○	—	○	○	—	○	
	おすすめ30分ケア	○	○	○	○	○	○	○	

ウェルカムベビー講座（コース一覧）

（2）重点宣言Ⅱ「すべての子どもが取り残されず、夢と希望をもって成長します」

○医療的ケア児等支援体制の構築のため、コーディネーターを配置したほか、私立認可保育所での医療的ケア児受入れ支援に向けた加算金の支給・補助を開始しました。

○増加が続いている不登校児童・生徒への支援を強化するため、多様な学びの場として、教室以外の居場所（校内別室）を11校に拡大したほか、オンラインを活用した支援など、支援内容の充実に取り組みました。



（3）重点宣言Ⅲ「魅力と交流の創出で若者の社会的自立と活躍を応援します」

○子どもの意見を活かした取組を推進し、子どもも大人も暮らしやすいまちを実現するため、「いたばし子どもワークショップ」を拡充して本格的に実施したほか、成増生涯学習センターの改修設計に着手しました。また、旧板橋第四中学校の跡地活用方針に基づき、大原生涯学習センターとCAP'S 富士見台児童館を含む居場所空間の創出に向けて検討を進めました。

○中学生のスポーツ・文化芸術活動を通じた成長機会の確保を図るため、既存の学校部活動である野球部を全区立中学校同時に「いたばし地域クラブ」へ地域移行しました。



いたばし子どもワークショップ

（4）計画事業（重点的に取り組む48事業）の達成状況（参考：資料2-3）

「達成」及び「概ね達成」の割合は約85.4%（「変更」を除くと約95.3%）となりました。

施策体系	事業数	達成	概ね達成	未達成	変更
目標Ⅰ 安心して妊娠・出産、子育てできるまち	10	7 70.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%
目標Ⅱ 子どもの健康と安全が守られるまち	9	7 77.8%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
目標Ⅲ すべての子どもが健やかに育つまち	11	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%
目標Ⅳ 豊かな人間性と生きる力を育成するまち	9	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%
目標Ⅴ 子育てでみんなが協力するまち	9	2 22.2%	6 66.7%	0 0.0%	1 11.1%
計	48	32 66.6%	9 18.8%	2 4.2%	5 10.4%

※評価評語の定義：上記2（2）と同様

4 子社プランの主な実績

(1)「子ども・子育て支援事業計画(第3期)」編(参考:資料2-4)

① 幼児期の教育・保育施設にかかる需要と供給

区分	令和7(2025)年度実績		
	需要(A)	供給(B)	過不足(B-A)
①1号認定(3歳以上、幼稚園・認定こども園)	3,481人	5,253人	1,772人
②2号認定(3歳以上、保育園・認定こども園)	6,747人	7,497人	750人
③3号認定(0歳、保育園・認定こども園、地域型保育事業)	843人	1,223人	380人
④3号認定(1歳、保育園・認定こども園、地域型保育事業)	2,127人	2,315人	188人
⑤3号認定(2歳、保育園・認定こども園、地域型保育事業)	2,432人	2,643人	211人

② 地域子ども・子育て支援事業(子ども・子育て支援法及び児童福祉法に定める事業)

事業名	令和7(2025)年度の主な実績
①延長保育事業(時間外保育事業)	公立28園・私立108園、延3,033人
②病児保育事業	病児・病後児、病後児 計5か所 延3,410人
③実費徴収に係る補足給付を行う事業	低所得世帯への副食費補助 計562件 他
④多様な主体が本制度に参入することを促進する事業	新規開設園への説明・研修等 7園
⑤利用者支援事業	いたばし子育てNAVI事業 相談件数12,846件 他
⑥妊婦健康診査	1回目受診 3,735件 他
⑦乳児家庭全戸訪問事業(新生児訪問事業)	訪問3,480件(面会率100%)
⑧乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)	令和8年度事業開始
⑨地域子育て支援拠点事業	児童館26館・森のサロン延利用 延614,001人
⑩放課後児童健全育成事業	あいキッズ1~3年 5,610人、4~6年 2,366人
⑪一時預かり事業	幼稚園型 延225,878人、幼稚園型以外 延5,962人
⑫子育て援助活動支援事業	ファミリー・サポート・センター:就学児 延1,935人
⑬子育て短期支援事業	ショート・トワイライトステイ 延557人 他
⑭養育支援訪問事業	要支援児童を対象とした訪問件数 391回 他
⑮子育て世帯訪問支援事業	育児支援ヘルパー・産後ドゥーラの訪問件数 計56件 他
⑯児童育成支援拠点事業	課題整理等により、事業実施の可能性について検討
⑰親子関係形成支援事業	実施回数 計8回、参加者数 延40人

(2)「社会的養育推進計画」編の進捗状況(令和7年度児童福祉審議会第1回本委員会報告済)

「達成」及び「順調」の割合が約96.1%であり、計画どおり順調に進捗しています。

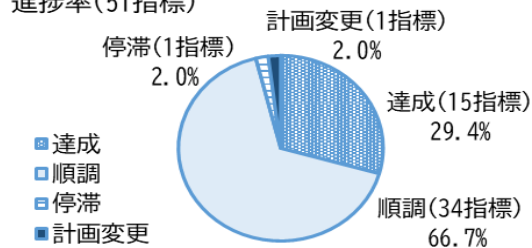
○代替養育を必要とする子どもの数

	令和5 (2023)年度	令和7 (2025)年度	令和11 (2029)年度
推計値	—	211人	220人
実績値	179人	179人	—

○里親委託率

	令和5 (2023)年度	令和7 (2025)年度	令和11 (2029)年度
推計値	—	20.4%	38.6%
実績値	12.3%	16.2%	—

進捗率(51指標)



※四捨五入により合計は100%とならない(下記は評価評語の定義)

達成	目標事業量を達成している。
順調	目標事業量に向けて順調に進捗している。
停滞	目標事業量に向けて進捗が停滞している。
計画変更	事業に計画変更が生じ、目標事業量を変更する必要が生じている。

5 今後の課題・方向性

○児童人口(18歳未満)や子育て世代の人口減少及び転出超過の傾向が継続しており、子ども・若者・子育て世代の声を踏まえた政策強化が急務となっています。

○基本構想(令和7(2025)年10月策定)で定める概ね10年後のめざす姿(ビジョン)の一つである、「子ども・若者・子育て世代が住みたくなるまち」の実現に向けて、子社プランによる多様化するニーズへの対応や切れ目のない支援の着実な推進と併せて、令和8年2月に策定した、子若子育てプランでは、「少子化対策バージョンアップ戦略」「ライフステージ別基本施策」「誰一人取り残さない支援施策」の3つの柱により、子ども・若者政策を展開し、少子化対策に向けた政策強化などに取り組んでいきます。